

缶サット甲子園 2017 和歌山地方大会 開催要領

缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会

1. 目的 : 高校生が自作したモデルロケットで自作した缶サット(空き缶サイズの模擬人工衛星)を打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う事で、次の事を目的とする。
 - (1) 理工系の楽しさ、面白さ、魅力などを感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
 - (2) 座学で学んだ知識について、その働きと役割を自ら実感出来る体験をすること。
 - (3) 与えられた課題だけではなく、生徒自ら課題を発見出来る能力やプレゼンテーション能力を身につけること。
 - (4) 理工系への進路選択を後押しすること。
 - (5) 缶サット甲子園全国大会への出場推薦校を決めること。

2. 日時 : 平成29年7月9日(日) 9時~17時半 午前: 打上競技・午後: 事後プレゼン審査

3. 主催 : 缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会
共催 : 和歌山大学クロスカル教育機構 教養・協働教育部門
後援 : 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会 NHK和歌山放送局 朝日新聞和歌山総局 株式会社テレビ和歌山 株式会社和歌山リビング新聞社 産経新聞社 ニュース和歌山株式会社 毎日新聞和歌山支局 読売新聞和歌山支局 わかやま新報

- 協賛 : セイカ株式会社 <http://www.waseika.com/index.html>
小西化学工業株式会社 <http://www.konishi-chem.co.jp>
株式会社ワイプレスインターナショナル <http://www.winepress.co.jp>
株式会社山本進重郎商店 <http://www.yamasin.co.jp>
株式会社 PLUS SOCIAL <http://plus-social.co.jp>
三木理研工業株式会社 <http://www.mikiriken.co.jp>
WAOLAB <http://www.waolab.jp>
山口電気工事株式会社 <http://yamaguchi-d-k.co.jp>
メイク広告株式会社 <http://meiku-koukoku.com>
富国生命保険相互会社 <http://www.fukoku-life.co.jp>
啓林館 <https://www.shinko-keirin.co.jp>
日本電気株式会社 和歌山支店 <http://jpn.nec.com>
株式会社BEE <http://bee-design.co.jp>
株式会社南北 <http://www.namboku.com>
株式会社KEGキャリア・アカデミー <http://www.k-e-g.co.jp>
ルネサスエレクトロニクス株式会社 <https://www.renesas.com/ja-jp.html>
株式会社オプラス <http://www.oplus-inc.com>
株式会社長谷川冷機
イベントファクトリー杉谷 <http://eventfactory.ikora.tv>
北浦木工 <http://web.wakkun.or.jp/03210.htm>
第一電機設備工業株式会社 <http://www.daiichi-denki.com/>
株式会社日本旅行 <http://ep.nta.co.jp/tiswakayama/>
虎ノ門法律経済事務所 <https://www.t-leo.com/branch/wakayama/>
医療法人青松会 <http://www.seishou-kai.jp/>
株式会社エスビジョングループ <https://www.jukuwork.com/svision/>
株式会社かじもと https://re-model.jp/webapp/remodel_club/view/RC112901
紀州技研工業株式会社 <https://www.kishugiken.co.jp/>
学校法人山本学園 IBW美容専門学校 <https://www.ibw.ac.jp/>
アドゥシール株式会社
松三建材株式会社 <http://matsusan.co.jp/>

ルアリダワークス <http://www.luarida-works.com/>
m art space

協力 : W S P (和歌山大学宇宙開発プロジェクト)
和歌山県電器商業組合青年部 <http://www.chuokai-wakayama.or.jp/wadensho>
和歌山市加太地域活性化協議会 <http://www.kada.jp>
イオンモール和歌山 <http://wakayama-aeonmall.com>
うちはら模型
事務局 : 和歌山県立桐蔭高等学校 教諭
缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員長 藤木 郁久
(JAXAスペース・ティーチャー)
cansatwakayama@gmail.com TEL : 073-436-1366 携帯 : 090-8756-3920

4. 会場

打上競技会場 : コスモパーク加太
(和歌山市コスモパーク加太 和歌山市加太字炭谷 2362 番 12 の一部)
HP : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062200/ritchi/yochi-kada.html>

事後プレゼン審査会場 : イオンモール和歌山 3 階 イオンホール

HP : <http://wakayama-aeonmall.com>

(コスモパーク加太から車にて 25 分程度で移動できます。)

各会場への移動は各自で移動手段を確保してください。確保が難しい場合は、事務局に相談してください。

5. スケジュール

時間	内容
8:45~9:00	コスモパーク加太に集合、受付、打上順の抽選
9:00~9:10	開会式 実行委員長挨拶、和歌山大学副学長 クロスカル教育機構長挨拶、審査員の紹介、連絡・諸注意等
9:10~9:30	ラジコンヘリのデモンストレーション (協力:うちはら模型)
9:30	缶サット及びロケットと共に集合写真
9:40~	打上準備所にて機体審査開始 (担当:和歌山大学秋山先生)
9:40~	各校ブースにて缶サット本体の審査開始 (担当:審査員)
10:00	打上準備所にて第1チームと第2チームのエンジン装着 (担当:和歌山大学秋山先生)
10:05	第1チームと第2チームは発射台へ移動し、ロケットの打ち上げ (担当:桐蔭高校藤木先生と恵那高校佐々木先生)
10:15	2チームの打ち上げ終了後、ロケットと缶サットの回収
	以下、第13チームまで繰り返す。詳細はロケット発射時刻表を参照のこと。
	コスモパーク加太にて昼食。昼食時間は自由です。
12:30	イオンモール和歌山へ各自で移動 (途中にコンビニあり)。
12:30	和歌山市加太観光協会のマイクロバス25名乗り (イオン行き) 出発
	イオンにて事後プレゼンの作成
14:00	一般見学者への開場
14:30~17:00	事後プレゼン審査 (7分発表+3分質疑+入れ替え1分)
17:00~17:15	休憩
17:15~17:25	マイコンボードの紹介
17:25~17:30	結果発表、表彰
17:30	解散

遠方からの参加の学校は、打上時間 / 発表時間を考慮します。事務局へ事前に相談してください。

ロケット発射時刻表

	エンジン装着	発射台へ移動	打上げ	回収
第1チーム・ 第2チーム	9:50～10:00	10:05	10:10	10:15
第3チーム・ 第4チーム	10:00～10:10	10:10	10:25	10:30
第5チーム・ 第6チーム	10:15～10:25	10:25	10:40	10:45
第7チーム・ 第8チーム	10:30～10:40	10:40	10:55	11:00
第9チーム・ 第10チーム	10:45～10:55	10:55	11:10	11:15
第11チーム・ 第12チーム	11:00～11:10	11:10	11:25	11:30
第13チーム	11:15～11:25	11:25	11:40	11:45

●打上競技の流れ

機体審査（打上準備所にて）→缶サット本体の審査（各校ブースにて）→エンジン装着（打上準備所にて）→ロケットに缶サット本体を搭載（打上準備所にて）→スタッフの誘導のもと、発射台へ移動（発射台の前で集合写真の撮影OK）→2校の打ち上げ→2校の打ち上げ終了後、回収

●機体審査

打上準備所にて秋山先生に機体を審査してもらいます。エンジン装着時間までに必ず機体審査を受けてください。機体に不安のあるチームは早めに機体審査を受けること。この機体審査に合格しない機体は打ち上げることができません。

●缶サット本体の審査

審査員が各校のブースを回ります。審査員の質問に教えてください。

●エンジン装着

上記の「ロケット発射時刻表」を参照し、指定時間までに打上準備所にメンバー全員で行くこと。ロケットとロケットに搭載する缶サット本体を持参すること。

エンジン装着後、打上準備所にて、缶サット本体の電源をONにし、ロケットの中に缶サット本体を搭載します。

●発射台への移動

スタッフの誘導のもと、発射台へ移動します。発射台にて集合写真撮影は可能です。集合写真の撮影後、カウントダウンをする生徒1名は発射装置のところへ移動、その他の生徒は見学者境界ラインまで速やかに移動すること。

★打上時間が早まる場合があります。いつでもエンジンが装着できるように、早めに準備を完了しておいてください。

★2つのチームが同時に行動します。エンジン装着時間に遅れた場合は、打ち上げを行いません。決められた時間までに準備が完了するように、事前に缶サット本体のロケットへの搭載等の練習をしておいてください。正当な理由が認められた場合（判断は藤木先生と秋山先生が行います。）のみ、第13チームの後に打上を行います。減点対象とします。

★2つの発射台にて発射を行います。

★郵送済みの竹ヒゴ等を使用し、ロケットが発射板の上で自立できるようにしておくこと。

★郵送済みのストローを2つに切断し、ロケットの先頭と末尾の2か所でロケット本体にしっかりと固定しておくこと。このランチラグパイプ（ストロー）がないと、ロケットは発射できません。発射棒にランチラグパイプを通すことで、ロケット打ち上げ時のガイドとなります。

★郵送済みのエンジンフックを必ず使用し、C11-3エンジンがエンジンフックで固定できることを確認しておくこと。また、エンジンマウントはロケット本体にしっかりと固定し、一体化しておくこと。

★ノーズコーンとロケット本体（下部）は平ゴムで接続し、ロケット分離時にノーズコーンが飛ばされないようにしておくこと。

6. 申込み方法（今年度の申込受付は終了しました。）

- 1校1チームのみとし、複数エントリーは認められません。
- 1チームは同じ高校の生徒で構成するものとします。複数の高校による混成チームは認められません。
- 高専生は3年生までとします。
- 地方大会・全国大会にエントリーできるのは、生徒4名・指導教員1名の計5名です。但し、製作作業・当日の活動においてのサポートメンバーの人数は限定しません。

参加チームは所定の書類を大会事務局（桐蔭 藤木）に送付してください。

- 平成29年度「缶サット甲子園」参加申込書（郵送と電子メールでの送付）
 - 平成29年度 競技会参加生徒名簿（郵送と電子メールでの送付）
 - メディア報道に関する承諾の御願い（※チームの生徒全員分必要、郵送のみ）
- 必要書類は下記缶サット甲子園のHPにあります。

<http://www.space-koshien.com/cansat/guide/index.html>

送付先

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 5-6-18

和歌山県立桐蔭高等学校 缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会 藤木郁久

メールアドレス：cansatwakayama@gmail.com

申込み〆切は5月31日(水)です。

（何らかの事情で申込みが間に合わない場合は、事前に御相談ください）

7. 出場チーム

和歌山県立桐蔭高等学校 和歌山県立向陽中・高等学校 和歌山県立橋本高等学校
和歌山県立海南高等学校 和歌山県立日高高等学校 開智高等学校（和歌山市）
近畿大学附属和歌山高等学校 智辯学園和歌山中学高等学校
大阪府立茨木工科高等学校 大阪電気通信大学高等学校
兵庫県立尼崎工業高等学校 兵庫県立芦屋国際中等教育学校
岐阜県立恵那高等学校（13校）

8. 審査員

山下真先生（紀泉工房代表・ロボカップジュニア和歌山ノード長）
西村竜一先生（和歌山大学システム工学部教員）
久保田善文様（株式会社BEE代表取締役）

9. 審査内容

ミッション概要資料・事前プレゼン映像（YouTube 上でのビデオ審査）・打上競技・事後プレゼン審査の4つによって評価し、全国大会出場校を決定します。（全国大会への出場校数は、7月初旬に決定する予定です。）

また、予選時での缶サットの性能だけでなく、将来性（全国大会へ向けての改良プラン及びそのマネージメントプラン）についても審査します。

※悪天候や投下装置の故障等により打上競技ができない場合は、各チーム設定のミッションのデモンストレーションを実施してもらいます。

※打上競技、事後プレゼン審査の発表順番は、受付後にくじ引きで決めます。

(1) ミッション概要資料

『自分達が実施する予定のミッション』に関して、明確に記述してください。書式は自由ですが、「ミッションの目的および意味 / 意義」「缶サットの構造 / 仕組み」「期待される成果」等に関して述べてください。A4サイズ2~3枚程度。

ミッション概要資料（pdf ファイル）を7月3日（月）17時までに事務局へメール等にて提出してください。6日までにwebにて公開しますので、事前に目を通し、各校のミッションの研究をしておいてください。当日の概要資料の配布はありません。必要な場合は各校で印刷をしてください。また、当日の他校への配布は不要です。公開が不可の場合はその旨を事務局へ伝えてください。

提出先：缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会 cansatwakayama@gmail.com

(2) 事前プレゼン映像

ミッション概要資料に基づき、各チーム5分程度で内容をまとめてビデオ録画し、7月3日（月）17時までにYouTubeへの一般公開動画としてアップロードをしてください。アップロードの手順は、YouTubeヘルプ「動画のアップロード」をお確かめください。なお、YouTubeの動画を一般公開する予定です。公開が不可の場合はその旨を事務局へ伝えてください。

ミッションアイデア「自らミッションを設定し、どう実現するのか」を説明して下さい。事前プレゼンでは、機体の独創性、技術について審査します。プレゼンの上手さも評価の対象となります。

(3) 打上競技

自作した缶サットを、自作したモデルロケットにより打ち上げ放出し、自ら設定したミッションの実行、投下後にミッションの結果確認を行います。

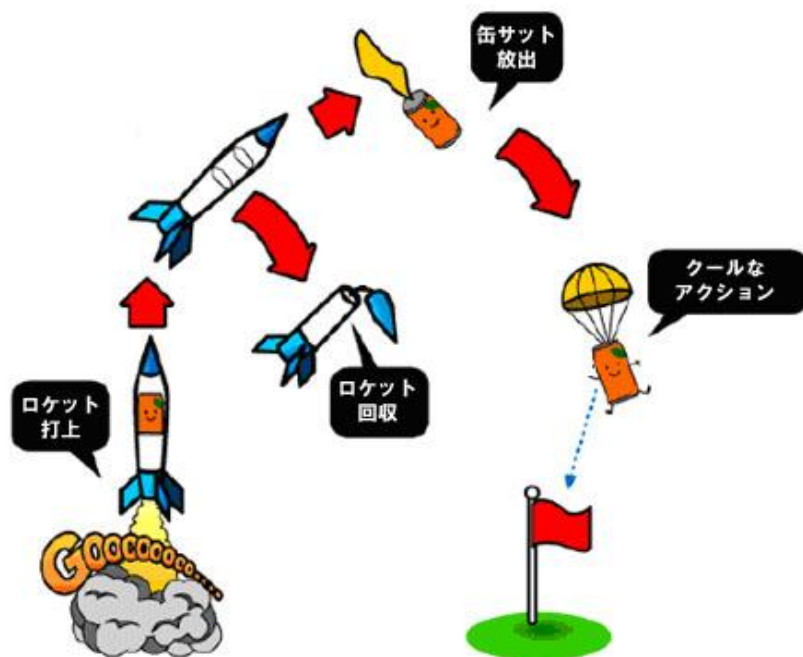


図1. ミッション例

- 自作ロケットについてはモデルロケット(C型エンジン3本クラスタによる300g以下の缶サットの打上が可能)を各自で事前に製作してもらいます。製作方法に関しては和歌山大学宇宙教育推進室のHP(以下)で公開しています。
<http://www.wakayama-u.ac.jp/ifes/achievement/index.html>
- 点火装置、発射台は実行委員会で提供します。
- 缶サットの重量は300g以下とします。缶サットは自作のモデルロケットに収まるように作製して下さい。
- エンジンマウントは提供します。申込みのチームに、エンジンマウントを後日に送付いたします。
- 缶サット本体には必ず、パラシュートなどの減速機構を取り付けてください。降下速度は5m/s~10m/sとしてください。モデルロケットにはパラシュートは不要です。
- 到達高度は70mを予定。
- C型のエンジン(C11-3)3本を実行委員会から現地で参加チームに提供します。
- 打上にはC型エンジンを使用します。一度に使用する火薬量が20gを超えるため、モデルロケットの3級ライセンスと火薬消費許可証の許可申請を各都道府県知事に提出する必要があります。もし、各自の高校の敷地などで試し打ちを実施する場合は、これらの制限に十分注意してください。また、点火はクラスタ方式となり、3本のモデルロケットエンジンに同時に点火する必要があります。配線など工夫が必要となりますので詳細は別途お問い合わせください。
モデルロケットのライセンスがない場合は実行委員会で発射ボタンを押します。
- ロケットの打上時間は厳守してください。
- 回収を考えた場合、1時間以上稼働出来ることが望ましいです。
- 背丈ほどの草が生えています。缶サットがロストする可能性もありますので、紛失防止策(缶サット本体にブザーを付ける等)を行ってきてください。ロストした場合も参加校の自己責任となります。また、長袖の服や長靴の用意も必要に応じて行ってください。
- 大会運営上の問題によりロケットへの搭載から打ち上げまでに予想を大幅に超える時間遅延があった場合は、運営主体とロケット打ち上げ責任者の判断により、缶サットの電池交換を認めます。
- 打ち上げは、打ち上げ準備完了後、おおむね5分以内に実施します。
- 缶サットが着地後、何らかの動作をする場合は、5分以内に動作を完了することとしてください。あらかじめそれ以上の時間がかかる場合は、審査団に打ち上げ前の機体審査時に報告を行い、了承を得てください。
- 雨の場合も、現地、9時に集合してください。参加校の顧問の先生と協議を行い、打上競技の実施の有無を決定します。打上競技が不可の場合は、プレゼンテーション会場にて、缶サット本体のデモンストレーションを行う競技に変更する場合があります。

(4) 事後プレゼン審査

自ら設定したミッションの結果を自己評価し、全国大会へむけての改良プランおよびマネージメントプラン(スケジュール等)を発表します。なお、プレゼン資料の書式は自由です。審査時間は10分間(プレゼンテーション7分、質疑応答3分)です。

(5) 全体の評価基準

- 斬新なアイデアを盛り込み、実施し達成できたか。
- 従来のやり方でなく、オリジナリティの高いミッションであるか。
- アイデアは従来通りでも、如何に確実に実現し達成できたか。
- 意義の高いミッションを設定し、実施できたか。
- ミッションにおいてデータ取得をする場合、複数データを組み合わせて複合的に解析ができたか。
(例えば、加速度と照度計や温度計のデータを組み合わせて、物理状況をきちんと再現できていること)
- ミッションで得られた情報の整合性に関しても踏み込んだ検証を行ったか。

10. 審査結果について

全ての審査終了後、審査員で協議して発表します。なお、審査には参加の各チームおよびWSPの学生さんにも協力していただきます。採点方法は以下のとおりです。缶サット甲子園全国大会の規定に従い、全国大会出場推薦校を発表します。なお、各チームの得点は公表しません。

- ① 審査員得点 (100点満点×3人 各チーム最高点は300点)
- ② チーム投票点 (2校を投票 ただし、自分のチームは除く) 17:00に回収
1票につき20点の加点
- ③ WSP投票点 (2校を投票) 1票につき30点の加点

例) ○○高校

- ①審査員の得点が80点、70点、70点 計220点
- ②チーム投票で3票獲得 20点×3=60点
- ③WSP投票で1票獲得 30点×1=30点

総合得点310点

総合得点の1番高いチームを1位とする。

注意事項

参加に当たっては、必要があれば国内旅行保険等、各自で加入してください。

改訂履歴

- 2017年5月9日 作成
- 2017年5月19日 審査員が決定しました。
- 2017年6月4日 出場校、協賛企業が決定しました。
- 2017年6月13日 後援が決定しました。
- 2017年6月22日 エンジンにC11-3を使用することに決定しました。また、ロケット発射時刻を一部変更しました。
- 2017年6月25日 5スケジュール内に注意事項を追加しました (赤字部分)。